

## 中山道年表(北本・桶川地域)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 古代～近世初頭            | 古代の東山道。(畿内から奥州地方に至る道路)                   |
| 1590 天正18          | 徳川家康、江戸に入る。                              |
| 1600 慶長5           | 徳川秀忠、中山道を通って関ヶ原の戦いへ向かうが、真田昌幸に足止めされ遅参。    |
| 1601 慶長6           | 家康、五街道の整備を始める。(東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道)   |
| 1602 慶長7           | 現在の北本市本宿にあった宿場が鴻巣宿へ移る。                   |
| 1603 慶長8           | 家康、征夷大將軍に。                               |
| 1635 寛永12          | 桶川宿設置。                                   |
| 1716 正徳6           | 幕府の通達によって、街道の表記を「中山道」に統一した。              |
| 1835～1837<br>天保6～8 | 英泉「岐阻街道桶川宿曠原之景」を含む、<br>木曾街道六拾九次(中山道)を描く。 |
| 1861 文久元           | 皇女・和宮、中山道を通って江戸の徳川家茂へ降嫁。                 |
| 1868 明治元           | 明治維新。                                    |
| 1883 明治16          | 日本鉄道(現高崎線)上野ー熊谷間開業。(鉄道網の発達により街道は衰退)      |
| 1970 昭和45          | 桶川市制施行。                                  |
| 1971 昭和46          | 北本市制施行。                                  |

ニツ家下遺跡の時期



平成23年度 第2回遺跡見学会資料  
平成23年6月18日(土)開催



財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団では、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)建設に伴い、平成21年度と23年度の二回にわたりニツ家下遺跡の発掘調査を行っています。

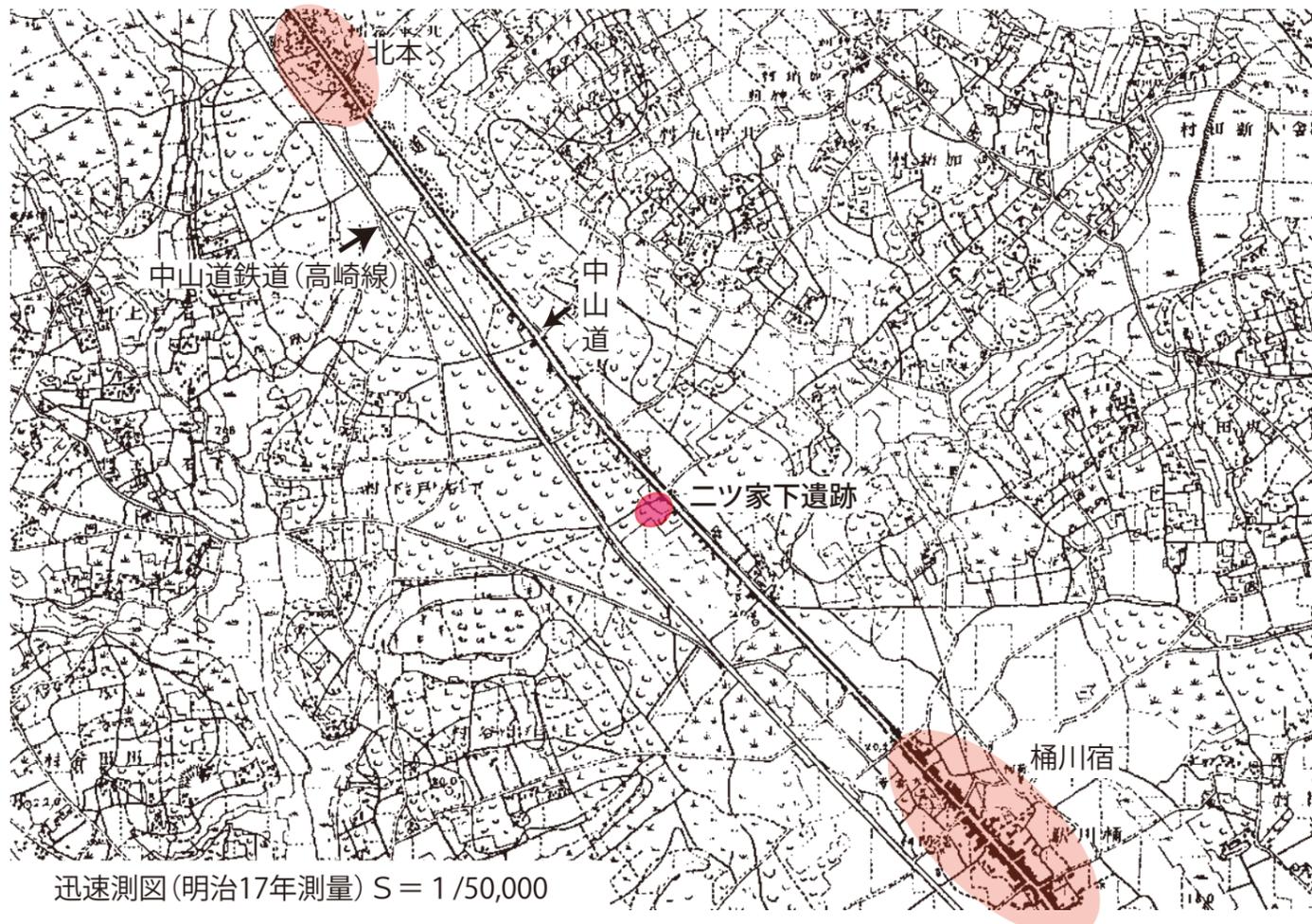
調査では、畑の畝跡や溝跡のほか掘立柱建物跡、土壇と呼ばれる穴など、江戸時代の生活のあとが見つかっています。溝跡からは陶磁器や瓦の破片、一部の土壇からは古銭(寛永通宝)などが出土しています。

調査区の北東側には旧中山道(現在の県道鴻巣桶川さいたま線)が通っています。中山道は江戸時代の江戸・日本橋と京都・三条大橋を結ぶ街道で、その間に69か所の宿場が置かれました。埼玉県内には9か所の宿場が設けられていましたが、遺跡の場所は、江戸から6番目の宿場である桶川宿の上の木戸から約1.2km、7番目の鴻巣宿方向に進んだところにあたります。

主催:財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

共催:埼玉県教育委員会・北本市教育委員会

協力:国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所



迅速測図(明治17年測量) S = 1/50,000



第16号溝跡

火をうけた瓦や炭が多く出土しました。近くで火災があり、その際に埋められたと考えられます。屋敷を区画する溝の可能性がります。



大黒様

第16号溝跡から出土しました。ススが付着していることから、カマド近くで祀られていたと考えられます。大きさは高さ約@cmです。



福助人形

第10号溝跡から出土しました。高さ約2cmの非常に小さな人形です。



カエル

第81号土壙から出土しました。大きさは@cmです。



畝跡(うねあと)

畑の跡です。畝には不規則な凹みが目立ち、作物は根菜類であったと考えられます。



べえごま、ばいごま(貝独楽)

関東ではベーゴマと一般に呼ばれています。土製で径は2.7cmです。